

1. 中部地方整備局港湾空港関係組織の紹介

2. みなとの役割と中部地域の特徴

3. 中部地方整備局で担当している仕事

4. 仕事の流れ

(参考) 最近の動き

(参考) 2025年度採用について

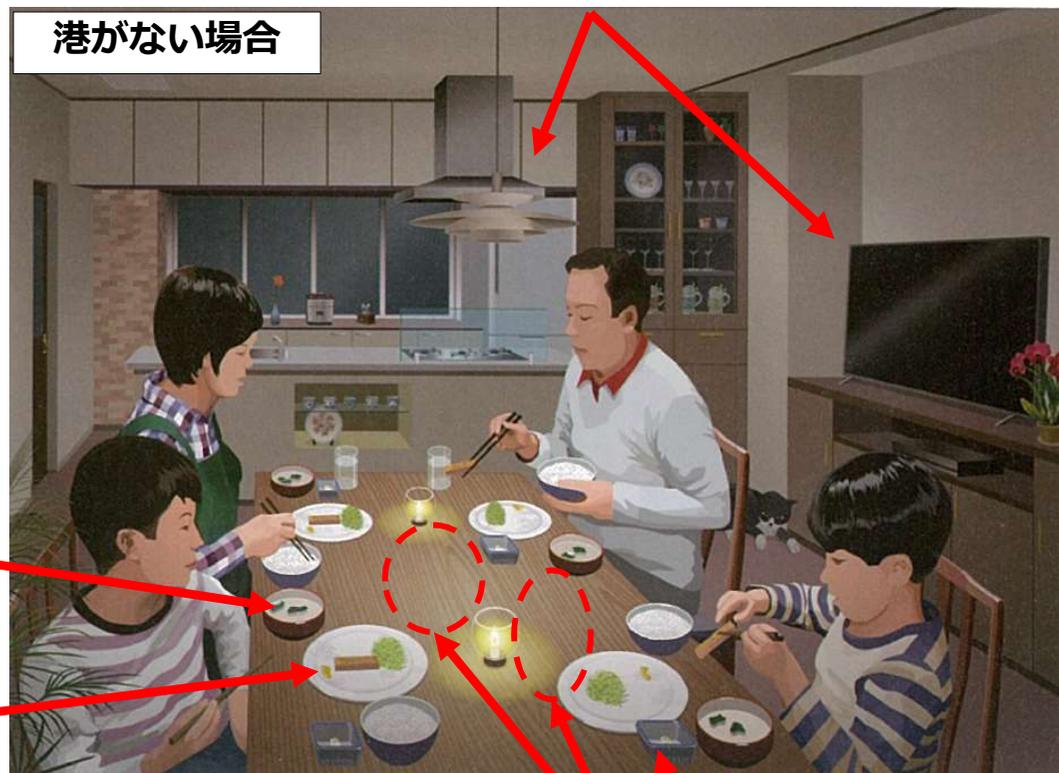
もしも、みなとがなかったら…

港がある場合（日常）



食卓は暗く、楽しみにしていたテレビも見られない

港がない場合



ほとんど味がしない味噌汁

トンカツは10分の1しか食べられない

献立の素材が輸入されている割合



炒め焼きそば 88%



ハンバーグ 86%

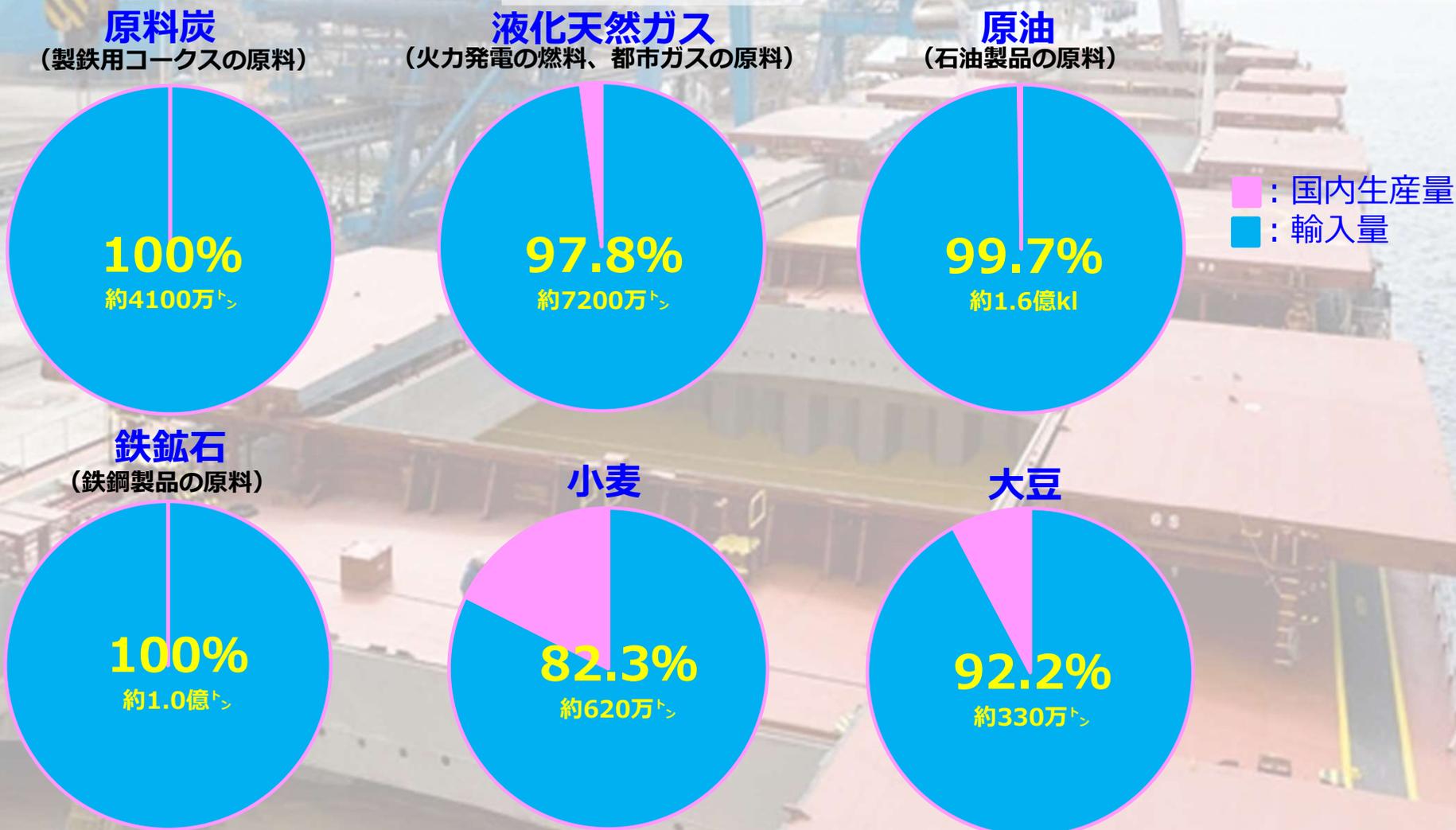


ラーメン 86%

調味料やジュースは消え、
冷や奴も食べられなくなる

【日本の特徴】 ①天然資源に乏しい
②大量の食料生産に向かない国土
⇒ **主要な原材料や食料などを海外からの輸入に頼らざるを得ない**

主要商品の輸入比率



(注) 輸入比率 = 輸入量 / (輸入量 + 国内生産量)

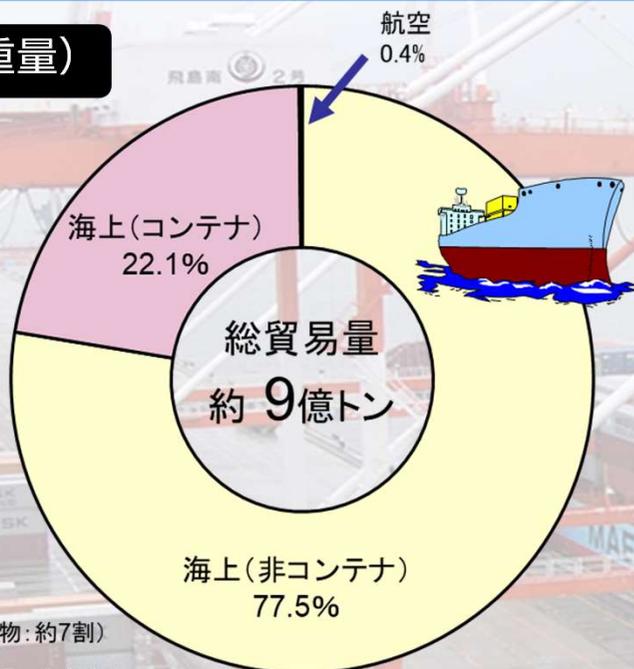
出典：「総合エネルギー統計（エネルギーバランス表（2022年度）」経済産業省エネルギー庁
「令和5年度 食糧需給表（概算値）」農林水産省
日本海事広報協会「日本の海運SIPPING NOW2024-2025」

【日本の貿易の特徴】

貿易量（重量）の99.6%は、**港を通じた海上輸送**が担っている。

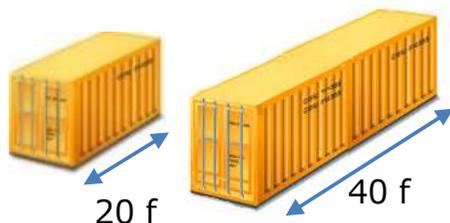
（貿易額でも海上輸送は7割を超える）

貿易量（重量）



出典：総貿易量 港湾統計(2022年)
 海上コンテナ・海上非コンテナ比率 港湾統計(2022年)
 航空・海上比率 貿易統計(2022年)をもとに国土交通省港湾局作成(2022年)
 ※四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある

海上コンテナの国際規格



荷役イメージ



海上
（非コンテナ）

ばら積み輸送 （ばら積み貨物）



大量の貨物を一括で輸送する方法。
 資源や穀物などの輸入に適している。

資源：鉄鉱石・石炭、木材、
 天然ガス、石油（原油）等

穀物：小麦、大豆 等

複合一貫輸送



自動車やトラックに乗せたまま輸
 送する方法。積み替えをする手間
 が少なく、主に国内輸送で広く普
 及。フェリー、RORO船が利用
 される。

完成自動車や、国内輸送向けの農畜
 産物、工業品、宅配貨物、郵便 等

海上
（コンテナ）

コンテナ輸送



コンテナという統一規格の容器を
 利用することで、積み替えや梱包
 をする手間が少なく、中に種類が
 異なる貨物を混載してパッケージ
 にすることも可能。

輸入：食品（水産物、加工品など）、
 機械部品、衣料品 等

輸出：機械/金属製品・部品、
 電気製品、紙・パルプ、家具等



コンテナの中身

自動車部品



食肉・魚介類



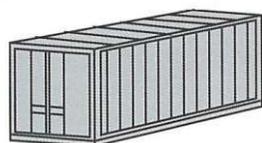
衣類・はきもの



野菜・穀物類

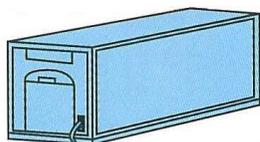


コンテナの種類



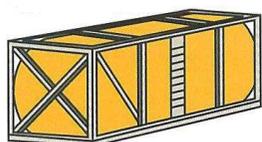
ドライコンテナ

一番よく使われる種類。
多種類の一般貨物輸送に使用される。



冷凍・冷蔵コンテナ

冷凍品、冷蔵品輸送に使用される。



タンクコンテナ

液体の食料品や、液体化学薬品
など液体物輸送に使用される。

木材・家具



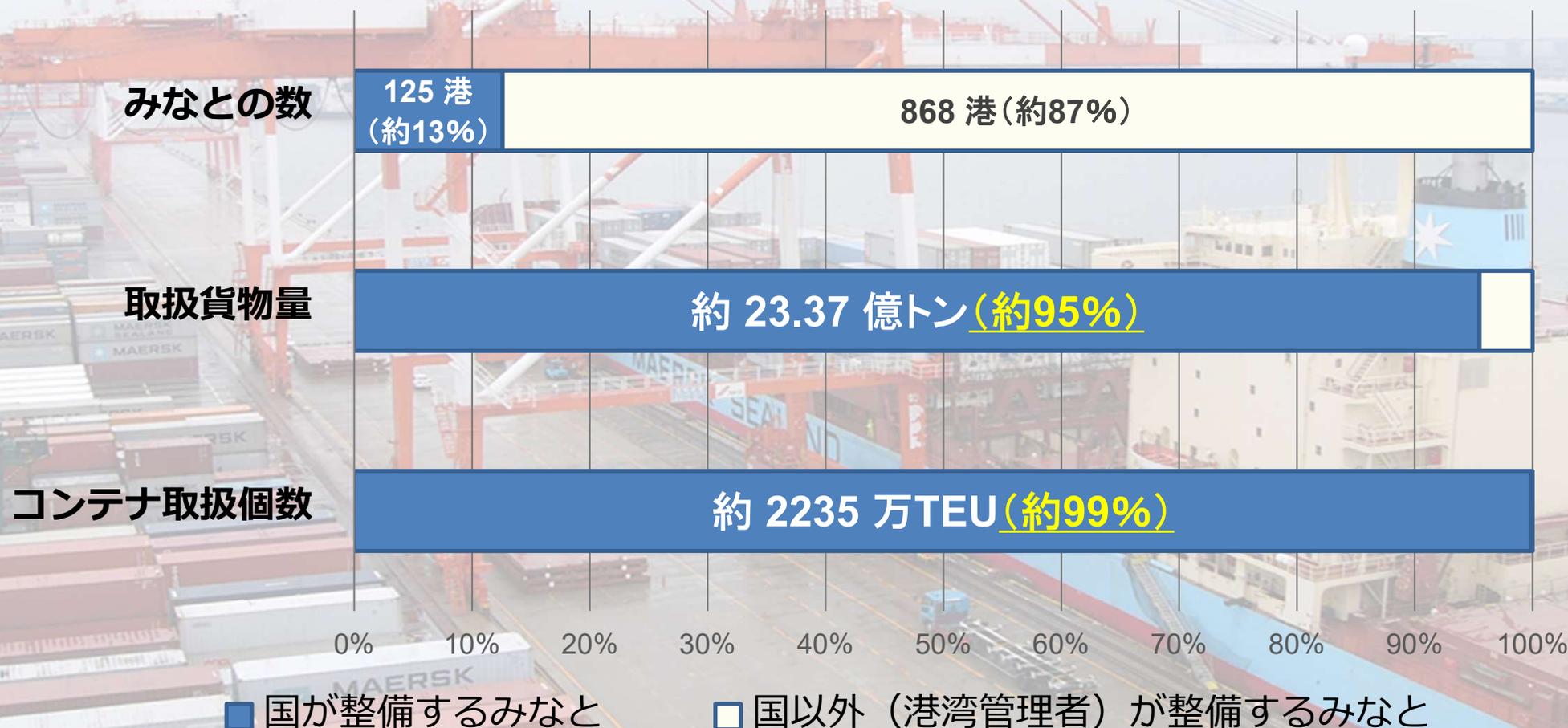
飲み物など



【国が整備するみなとの役割】

国が整備するみなとの数は国内の約 1 割だが、**取扱貨物量は 9 割以上。**

国が整備するみなとが担う役割



※1 国土交通省港湾局総務課調べ

※2 港湾統計(年報)(2021年)を基に作成

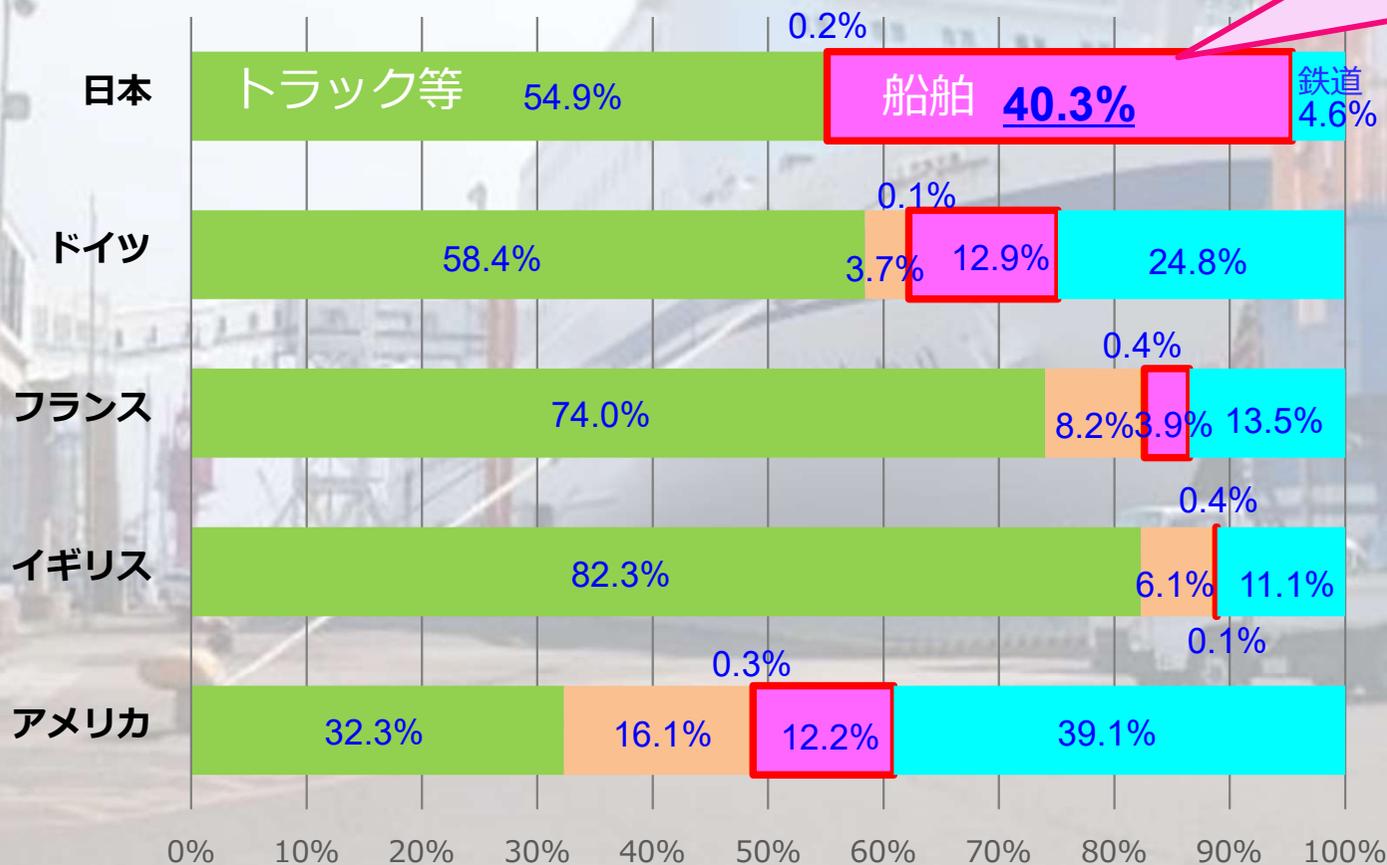
※3 TEU:コンテナ取扱個数の単位。20ft.コンテナ1個を1TEUとして計算。

【日本の特徴】 四方を海に囲まれている

⇒ **国内貨物輸送においても、船舶の分担率が高い**

国内貨物輸送量の輸送機関別分担率の国際比率（トンキロベース）

■トラック等 ■パイプライン ■航空 ■船舶 ■鉄道



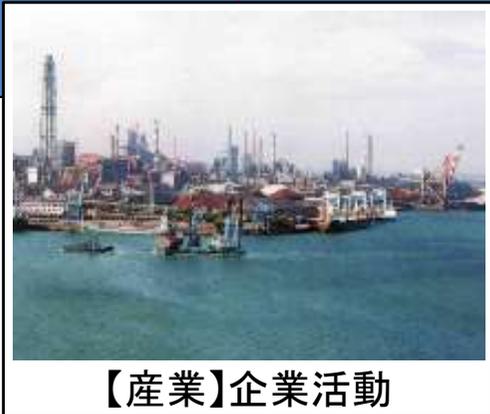
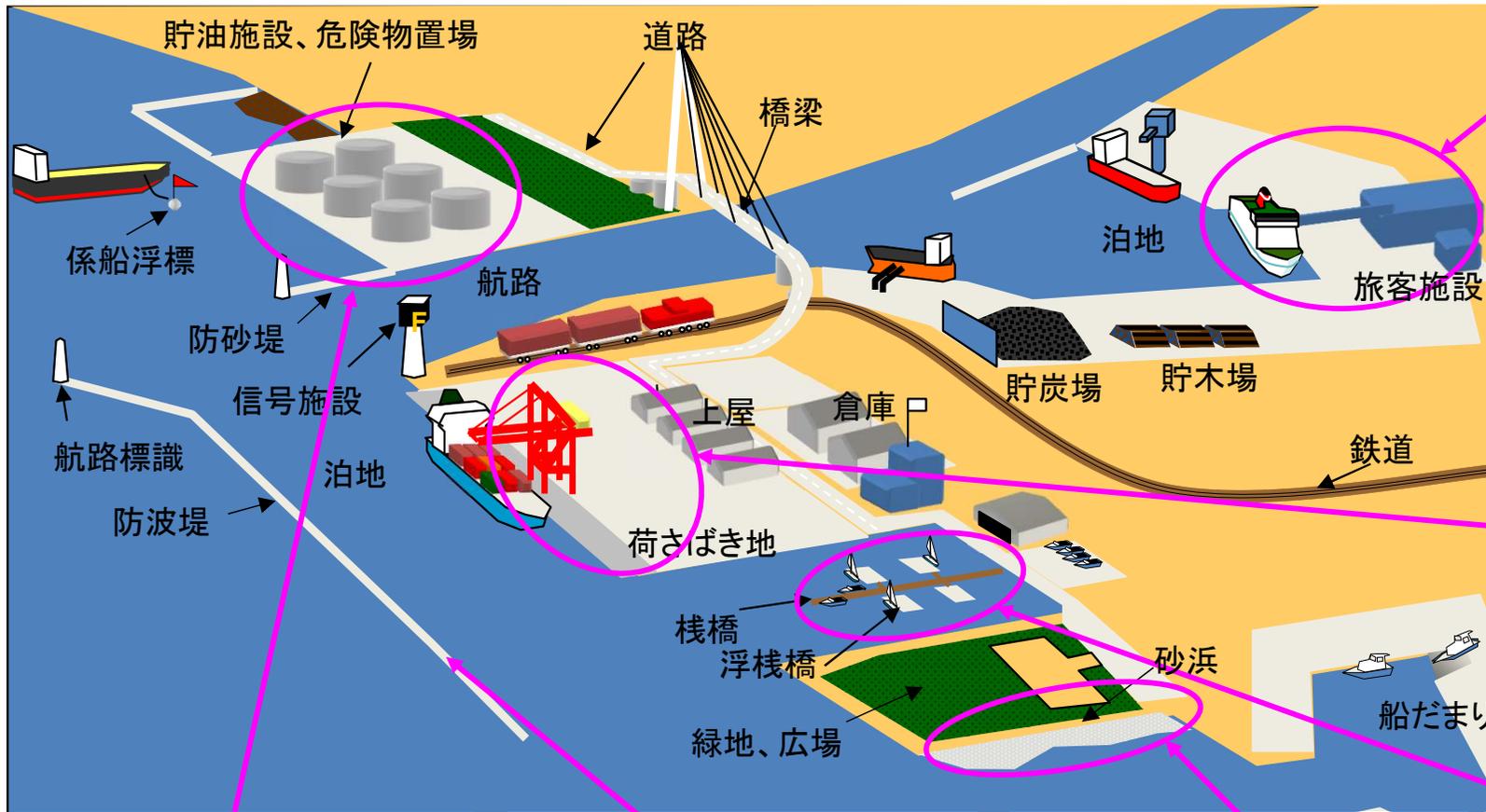
コンテナ船、ばら積み船のほか、フェリー（人（お客さん）＋貨物に乗せる）や RORO船（荷物・人（船員）に乗せる）等があります！



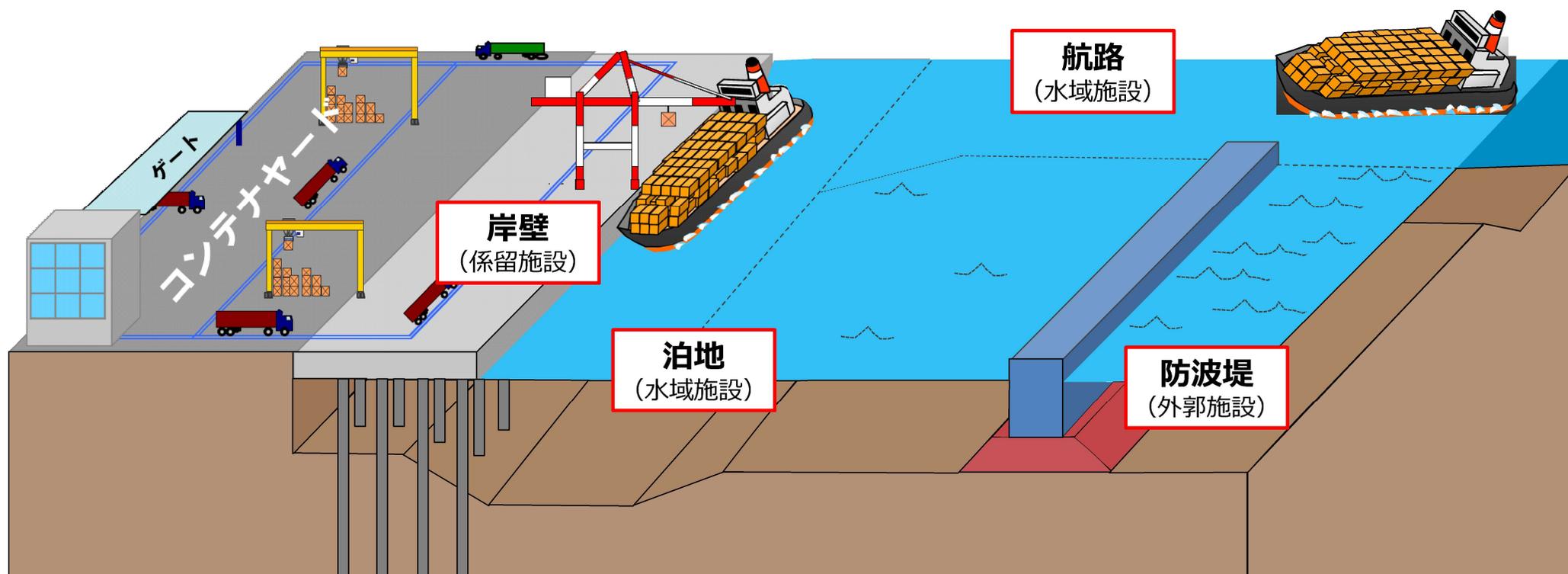
出典：国土交通省総合政策局情報政策本部調べ

1. 日本、アメリカ、イギリス、ドイツ、フランスのパイプライン、航空、船舶は2009年、道路、鉄道は2010年の数値。
2. アメリカの道路は2003年、パイプラインは2008年、航空、船舶、鉄道は2009年の数値。

物流・産業活動を支えるほか、安全を確保し、賑わい拠点としても機能。



船の安全な航行や、貨物の安全な積込・積卸しのために、港には様々な施設が造られている。



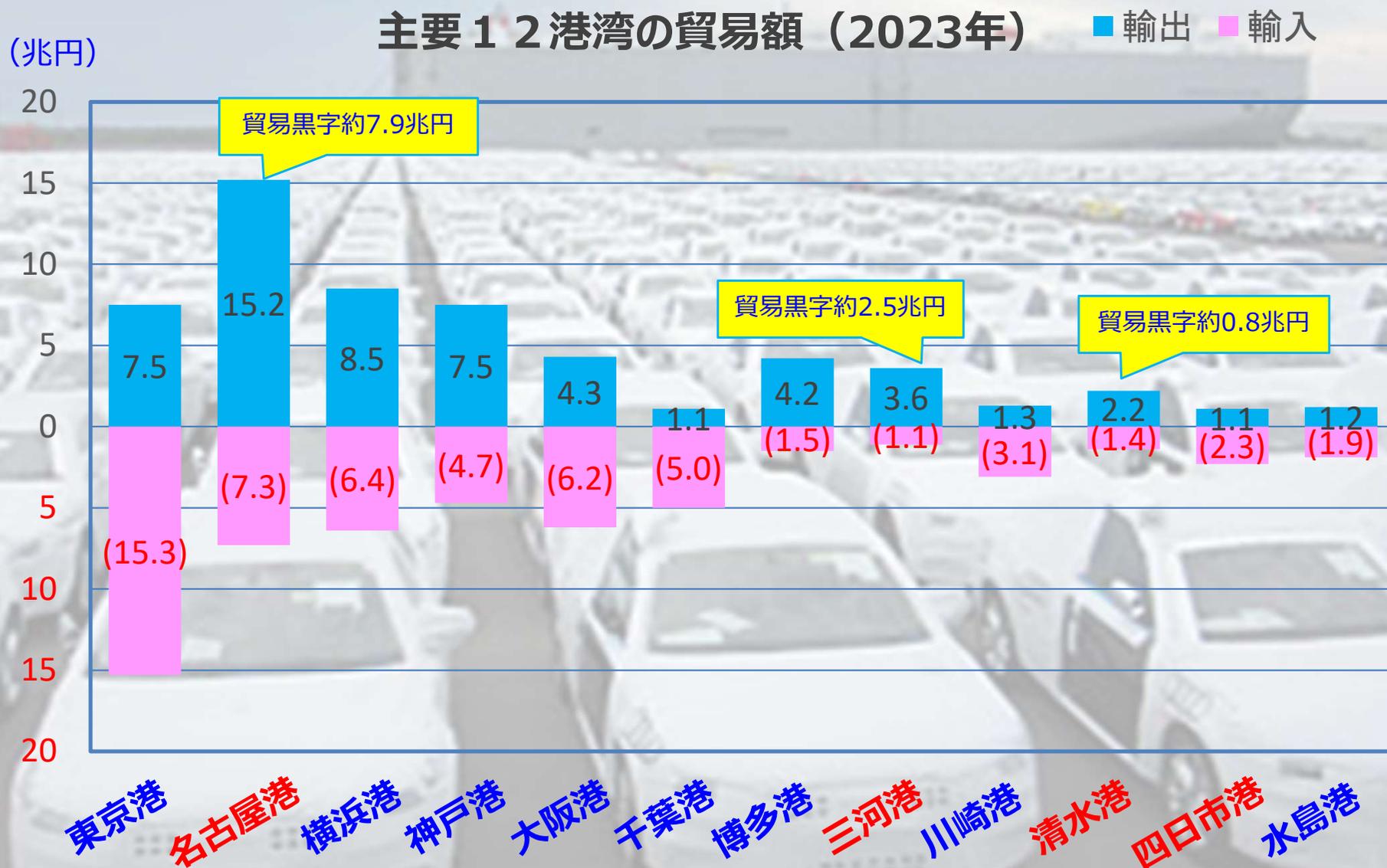
岸壁：船舶を固定して貨物の積込・積卸しを行うところ

航路：船舶が航行するための区域

泊地：船舶が停泊したり旋回したりするための区域

防波堤：港内への波を防ぎ、海面を静かに保つためのもの

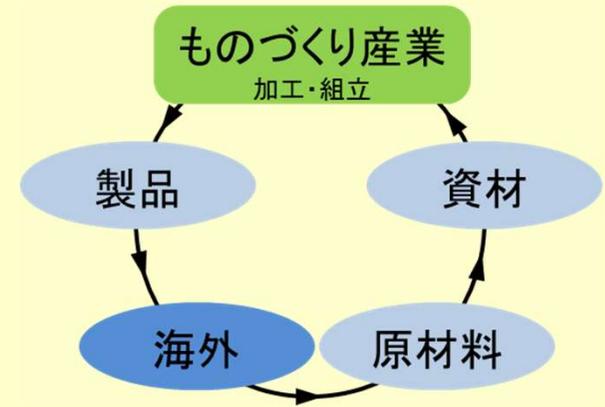
【中部地域の貿易の特徴】 約11兆円の貿易黒字（名古屋港、清水港、三河港）
⇒ **中部地域のものづくり産業が日本経済を支えている**



- 本社、本社工場
- 生産拠点工場など



- 中部圏の臨海部周辺には、自動車産業、航空宇宙産業、石油コンビナートが立地
- 中部のものづくり産業を、「材料・エネルギーの輸入」「製品の輸出」の両面から支えている



「ものづくり中部」の特徴

【名古屋港】

- ・総取扱貨物量、貿易黒字額 **全国1位**
- ・完成自動車の輸出台数、輸出額 **全国1位**
(トヨタ、本田、三菱、スズキ など)
- ・自動車部品の輸出拠点
- ・大型の航空機部品（胴体や主翼）の製造、輸送拠点

【衣浦港】

- ・大型の航空機部品（胴体や主翼）の製造、輸送拠点
- ・石炭
国内最大（世界最大級）の石炭火力発電所の稼働拠点
- ・木材チップ（家庭紙（ティッシュペーパー等）の原材料）
国内トップシェア工場向けの輸入拠点

【四日市港】

- ・LNG（液化天然ガス）
中部電力（株）最大規模の供給拠点
- ・小型車の国内移出および国外輸出拠点
- ・化学薬品の製造、輸出拠点
- ・原油の輸入・精製拠点
- ・石油等の輸出拠点

【三河港】

- ・完成自動車輸出台数、輸入額 **全国1位**
(ブジョー、メルセデス・ベンツ、フォルクスワーゲン、ポルシェ など)
- ・完成自動車輸出台数、輸出額 **全国2位**
(三菱、トヨタ、スズキ など)

【御前崎港】

- ・楽器の輸出額 **全国1位**（ヤマハ）
- ・小型自動車、二輪自動車類の輸出拠点（スズキ）
- ・バイオマス発電所を建設予定（木質ペレットを輸入予定）

四日市港

名古屋港

津松阪港

衣浦港

三河港

尾鷲港

清水港

田子の浦港

御前崎港

下田港

【清水港】

- ・プラモデル 出荷額 **全国1位**（タミヤ、バンダイ）
- ・玩具の輸出量 **全国1位**（タミヤ、バンダイ）
- ・二輪自動車・原動機付き自転車の輸出量、輸出額 **全国1位**
- ・パルプの輸入量、輸入額 **全国1位**
- ・マグロ（鮮魚・冷凍）の輸入量、輸入額 **全国1位**

【田子の浦港】

- ・製紙用パルプを用いたトイレトペーパーの生産拠点

※木材チップ：紙の原料、バイオマス発電の原料

※パルプ：紙を作るための原料であり、木材チップから繊維を抽出したもの

※木質ペレット：バイオマス発電の固形燃料であり、木材チップ等から成型したもの